

卓球台キャスター取り付け箇所 点検のお願い

2020/03

平素は当社製品をご愛顧頂き御礼申し上げます。

また、卓球台を安全にご利用頂くため、日頃から点検を実施して頂いているものと、重ねて御礼申し上げます。

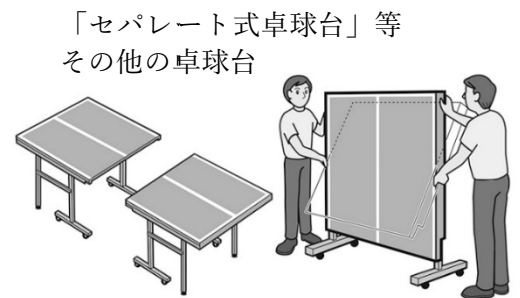
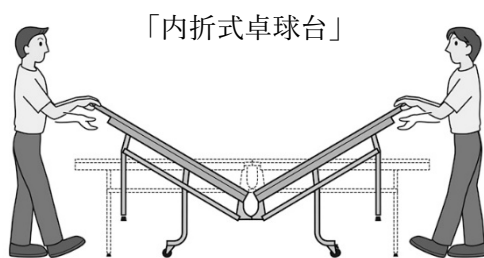
この度の「卓球台キャスターの取り付け箇所 点検のお願い」は、卓球台を支えているキャスターが安全な移動・設置・使用・収納に重要なことを再認識頂くと共に点検時の注意点を改めてお知らせするためのものがございます。何卒宜しくご確認の程お願い申し上げます。

★共通注意点

- ・キャスターを固定しているボルト・ナットの緩みが進んだ場合、移動時に卓球台が蛇行する、卓球台が傾く症状が発生する、場合によってはキャスターが外れて転倒に至る可能性があります。
- ・つきましては、ご使用中の卓球台のキャスターを固定しているボルト・ナットをご確認頂いた上で、少しでも緩んでいる場合には締め付けて頂き、緩みがない場合にも増し締めのお願いをいたします。

●注意が必要なキャスター

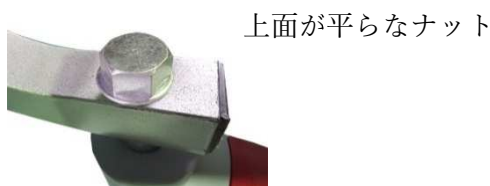
- ・一部の卓球台に使用されているキャスターは、取り付け部を上から見ただけでは固定しているボルト・ナットの緩みの程度がわかりにくいものがあります。
- ・卓球台の型式、キャスターの種類、キャスターの取り付け方法の順に以下の YES/NO にそって、注意が必要なキャスターであるかご確認ください。



★共通注意点 参照



★共通注意点 参照



★共通注意点 参照



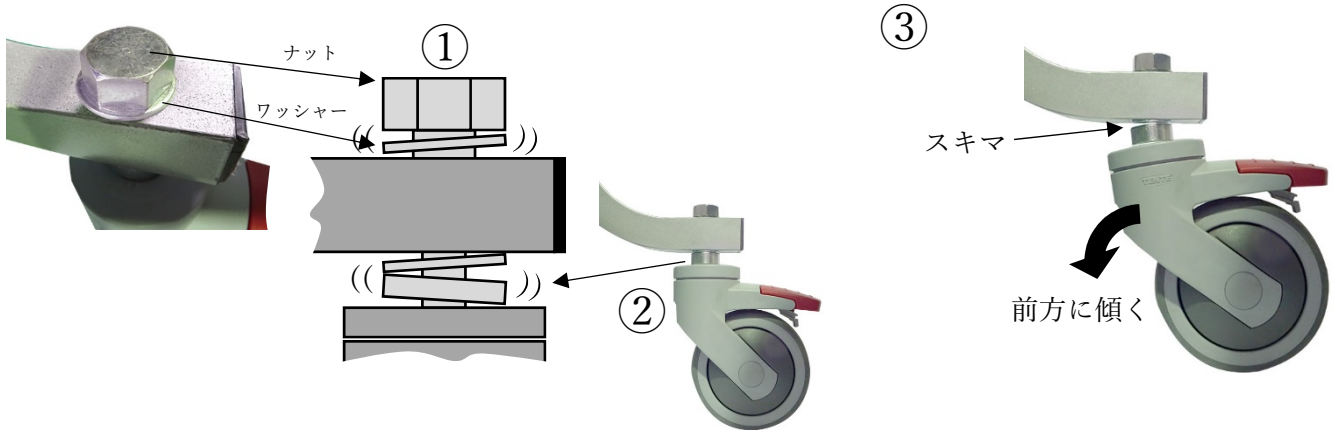
次ページへ

以下の確認、対処につきましては、周囲に子供や部外者などがいないかなどの安全をご確認の上、卓球台を安全に保持できる人数でおこなってください。

また作業に際しては手袋を使用するなどして、怪我をされない様にご注意ください。

●確認方法

- ①パイプ上面ナットがパイプから浮いている、ワッシャーを手で触ると動くなどの症状が無いかな？
 - ②キャスターとパイプの間にあるワッシャーにカタカタと動くような症状が無いかな？
 - ③キャスターが傾斜し、パイプとの間にすき間が生じていないかな？
- ※これらの症状はゆるみが**進行**している場合に多く見られる症状です。症状の有無や大小にかかわらず、以下の「●対処方法」にて増し締めをお願い致します。



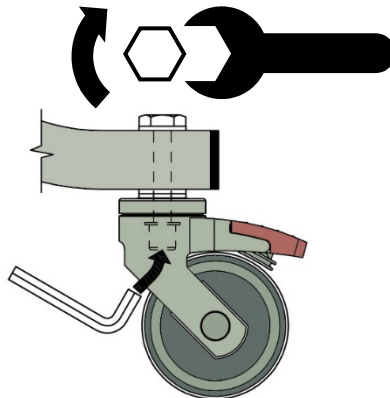
●対処方法

- ①キャスターの下側より六角棒レンチを差し込み、内部にある六角穴に差し込みます。
- ②スパナでナットの回転が止まるまで時計回りに強く締め付けます。
- ③上述「●確認方法」の各症状がない事を確認します。

六角棒レンチ



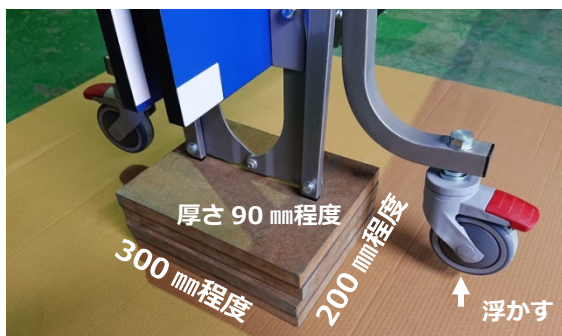
2面幅 10 mm



スパナ



22 mm



- ボルト・ナットの緩みが顕著でない場合はそのままの状態でも締め付け出来ますが、上述「●確認方法」③で大きな傾きが見られる場合は、左の写真の様に固い板などをおいて、キャスターを浮かした状態で締め付けてください。この際、卓球台が不安定になりますので、他の方が卓球台を支えながら作業をして頂きますようお願い致します。

●おわりに

以上につきまして、日頃から実施されています点検での注意点としてご理解ください。日頃の点検・対処にもかかわらず引き続きキャスターのボルト・ナットのゆるみが見受けられる場合には当社までご連絡ください。

なお、キャスターの取り付け部分以外の点検につきましては、納入時にお渡ししています取扱説明書の定期点検をご覧いただき、キャスターの摩耗や動きに異常が無いかなど、他のボルト・ナット・天板を固定しているビスなどに緩みがないかなどのご確認をお願いいたします。また、器具庫の出入口などにおける床面の段差は、卓球台・キャスターに負担をかける原因となりますので、段差を軽減する対処をお願いいたします。